

2年

数学科 令和8年度 指導・評価計画

月	単元・教材名	学習目標	学習活動	評価規準	観点	評価方法
4	1章 式の計算 14時間	<ul style="list-style-type: none"> 単項式、多項式、次数の意味を理解する 整式の加法、減法が計算できる 単項式の乗法、除法が計算できる 	単項式や多項式の次数の計算する 多項式どうしの加減の計算する 多項式と数の乗除の計算する 単項式どうしの乗法、除法の計算する 単項式どうしの乗除の混じった計算する	単項式や多項式の次数を求めることができる 多項式どうしの加減の計算が正しくできる 多項式と数の乗除の計算が正しくできる 単項式の乗法、除法の計算が正しくできる 単項式の乗除の混じった計算が正しくできる	I Ⅲ I ⅡⅢ	●観点Ⅰ 【知識・技能】 ・定期考査 ・単元別領域テスト ・小テスト ・ノート、問題集での計算方法
		<ul style="list-style-type: none"> 式の値をくふうして求めることができる 文字式を使い、整数の性質が説明できる 文字式を使い、図形の問題を解くことができる 等式のある文字について解くことができる 	式の値の計算する 整数の性質を文字を使った式の表現方法 整数の性質が一般的に成り立つ理由の説明する 式の計算を利用した図形問題の説明する 等式の変形をする	式の値を求めることができる 整数の性質を文字を使った式で表現できる 整数の性質が一般的に成り立つわけを具体例から見つけることができる 文字式を利用して、図形に関する問題を解くことができる	I Ⅲ I ⅡⅢ	
5	2章 連立方程式 14時間	<ul style="list-style-type: none"> 連立方程式の意味がわかる 連立方程式を加減法で解く事ができる 連立方程式を代入法で解く事ができる 連立方程式を問題に応じて適切に解くことができる 	連立方程式の意味を知る 連立方程式の解法(加減法) 連立方程式の解法(代入法) かつこをふくむ連立方程式の解法 小数・分数係数をもつ連立方程式の解法	連立方程式を解くことの意味を理解している 加減法を用いて連立方程式を解くことができる 代入法を用いて連立方程式を解くことができる かつこをふくむ連立方程式を解くことができる 小数・分数をふくむ連立方程式を解くことができる	I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ	●観点Ⅱ 【思考・判断・表現】 ・定期考査 ・ノート、問題集における記述 ・単元別領域テスト ・小テスト等
		<ul style="list-style-type: none"> 具体的な文章問題から、連立方程式をつくること 具体的な文章問題でつづいた連立方程式を適当な方法で解く事ができる 	値段に関する文章問題を連立方程式を用いて解く 個数に関する文章問題を連立方程式を用いて解く 速さに関する文章問題を連立方程式を用いて解く 割合に関する文章問題を連立方程式を用いて解く	文章問題から得られた情報を使い、連立方程式をつくること 問題解決のためにつづいた連立方程式を解き、その答を求めることができる	I ⅡⅢ I ⅡⅢ	
6	3章 1次関数 22時間	<ul style="list-style-type: none"> 1次関数の意味を理解する 1次関数の変化の割合の意味を理解する 1次関数のグラフをかくことができる 1次関数のグラフから式を求めることができる 1次関数の変域の対応を調べることができる あたえられた条件から1次関数を求めることができる 	1次関数の変化の割合を求める 1次関数のグラフをかく 1次関数のグラフから、1次関数の式を求める 1次関数のグラフにおけるxの変域とyの変域条件をみす1次関数を求め方	1次関数の意味を理解している 1次関数の変化の割合を求めることができる 切片や傾きを使い、グラフをかくことができる 1次関数のグラフから式を求めることができる xの変域とyの変域の意味を理解している グラフの傾きや切片がわかっている場合、1次関数の式を求めることができる	I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ I Ⅱ I ⅡⅢ	●観点Ⅲ 【主体性】 ・授業での発言内容 ・ノートの記述内容 ・問題集の記述内容 ・宿題の記述内容 ・単元別領域テスト ・授業の自己評価 ・授業の振り返り ・振り返りテスト
		<ul style="list-style-type: none"> $ax+by+c=0$の形の方程式のグラフをかくことができる 1次関数のグラフを利用して、連立方程式の解を求めることができる グラフの交点の座標を、求めることができる 身の回りの事象を1次関数で表すことができる 1次関数を利用し、図形・ダイヤグラムの問題を解くことができる 	2元1次方程式と1次関数 $y=ax+b$ グラフを利用して連立方程式を解き方 グラフの交点の座標を求める 身のまわりの事象を、それを1次関数とみて問題を解決する 1次関数を利用して動点の問題や面積に関する問題を解く	2元1次方程式を1次関数とみることができる グラフを利用し連立方程式を解くことができる グラフの交点の座標を求めることができる 身のまわりの事象を、それを1次関数とみなすことができる 1次関数を利用して、図形問題やダイヤグラムなどの問題を解くことができる	I ⅡⅢ I Ⅲ I Ⅲ I ⅡⅢ I ⅡⅢ	
7	4章 平行と合同 15時間	<ul style="list-style-type: none"> 多角形の内角と外角を求めることができる 多角形の内角の和や外角の和の性質を利用し、いろいろな角の大きさを求めることができる 対頂角、平行線の同位角・錯角を使い、角度を求めることができる 平行線の性質を理解する 合同な図形の意味や性質を理解する 合同な図形を見つけあてはまる合同条件を式で表すことができる 三角形の合同条件を図形に合わせて使うことができる 図形の中に合同な三角形を見だし、合同条件を用いて図形の長さや角が等しいことを示すことができる 仮定から結論を導く証明のすすめ方について理解する 	多角形の内角の和や外角の和の計算する 多角形の内角の和や外角の和の性質を利用した角度の求め方 対頂角や同位角、錯角の意味を知る 対頂角や平行線の同位角・錯角を利用した角度の求め方 合同な図形の意味を知る 合同な図形の表現する 三角形の合同条件を使い、記号を用いて表す 三角形の合同条件の使い方 簡単な命題の仮定と結論 簡単な命題の証明	多角形の内角、外角の和を求めることができる 多角形の内角の和や外角の和の性質を利用して角の大きさを求めることができる 対頂角や同位角、錯角の違いを理解している 対頂角、平行線の同位角・錯角を利用して角の大きさを求めることができる 合同な図形の対応する角や辺が等しいことを、式に表すことができる 合同な図形を、記号≡で表すことができる 三角形の合同条件の使い方を理解している 簡単な命題の仮定と結論を言うことができる 簡単な命題を、図形の性質を用いて証明することができる	I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ I ⅡⅢ I ⅡⅢ	
		<ul style="list-style-type: none"> 二等辺三角形の性質を理解し、それを利用して図形の性質を調べることができる 定義、定理の違いを理解する 二等辺三角形になるための条件を理解し、図形の性質の説明に用いることができる 定理の逆を理解し、真偽の判断ができる 直角三角形の合同条件を理解し、直角三角形の合同を合同条件から判断することができる 平行四辺形の性質を理解し、それを用いて図形の性質を証明することができる 平行四辺形になるための条件を理解し、それを用いて、図形の性質を証明することができる 長方形、ひし形、正方形の性質を理解する 平行線の性質を利用して、面積の等しい図形について調べることができる 	二等辺三角形の底角の性質や頂角の二等分線の性質 定義や定理の意味を知る 二等辺三角形になるための条件の使い方 命題の逆の意味を知る 直角三角形の合同条件の使い方 平行四辺形の定義・性質 四角形が平行四辺形になるための条件の使い方 長方形、ひし形、正方形の定義と使い方 等積変形のやり方	二等辺三角形の底角の性質や頂角の二等分線の性質が言うことができる 定義と定理の意味を理解している 二等辺三角形になる条件を言うことができる 命題の逆を言うことができる 直角三角形の合同条件を言うことができ、証明に用いることができる 平行四辺形の定義・性質を言うことができる 四角形が平行四辺形になるための条件を言うことができる 長方形、ひし形、正方形の定義を言うことができる 簡単な等積変形ができる	I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ I ⅡⅢ I Ⅲ I Ⅲ I ⅡⅢ	
8	5章 三角形と四角形 23時間	<ul style="list-style-type: none"> 確率の意味を理解し、簡単な場合の確率を求めることができる 場合の数を表や樹形図から求めるなどして、確率を計算することができる 	確率の意味と性質を知る 樹形図や表などをを用いた場合の数の求め方 場合の数を利用した確率の求め方	確率の性質を理解している 樹形図や表を書くことができる 場合の数をもとに確率を求めることができる 問題に応じて、樹形図や表の使い分けができる	I Ⅲ I Ⅲ I Ⅲ I ⅡⅢ	
		<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムを用いて複数のデータの分析の傾向を比較することを通してそれらと比較しやすくする方法の必要性を理解する 四分位数や四分位範囲の意味を理解し、それらを求めて箱ひげ図に表すことができる 四分位範囲や箱ひげ図の必要性を理解することができる。また、箱ひげ図を用いて、複数のデータを分析することができる 	データを比較、整理したヒストグラムを用いてデータの分布の傾向を比較する データを比較しやすくする方法や必要性を考える	複数のデータの分布の傾向を比較することに関心をもち、ヒストグラムや代表値を用いてそれらと比較しようとしている	I ⅡⅢ	
9	6章 確率 9時間	<ul style="list-style-type: none"> 確率の意味を理解し、簡単な場合の確率を求めることができる 場合の数を表や樹形図から求めるなどして、確率を計算することができる 	データを比較、整理したヒストグラムを用いてデータの分布の傾向を比較する データを比較しやすくする方法や必要性を考える	箱ひげ図を用いて複数のデータの分布の傾向を比較して読み取ることができる ヒストグラムと箱ひげ図を対応させ、それぞれのよさやがいを考える	I ⅡⅢ I ⅡⅢ	
		<ul style="list-style-type: none"> ヒストグラムを用いて複数のデータの分析の傾向を比較することを通してそれらと比較しやすくする方法の必要性を理解する 四分位数や四分位範囲の意味を理解し、それらを求めて箱ひげ図に表すことができる 四分位範囲や箱ひげ図の必要性を理解することができる。また、箱ひげ図を用いて、複数のデータを分析することができる 	データを比較、整理したヒストグラムを用いてデータの分布の傾向を比較する データを比較しやすくする方法や必要性を考える	箱ひげ図を用いて複数のデータの分布の傾向を比較して読み取ることができる 多様な統計的な表現を用いて、自分の判断を多面的に吟味し、修正することができる	I ⅡⅢ	